

『福祉のまち、よこすか』をめざして

議会活動報告チラシ第25号(ver2)
2011年4月11日発行

新たなハコモノ「サッカー場」建設に反対です

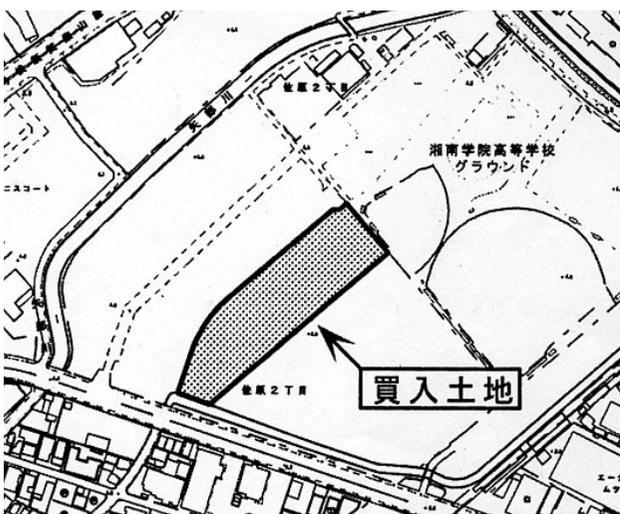
3079億円もの借金を抱えている財政危機のまち、横須賀。42万人の人口で割り算すると、生まれたばかりの赤ちゃんから寝たきりの高齢の方まで誰もが1人あたり72万3997円もの借金を背負わされています。経営感覚のない、無責任なハコモノ行政のツケはすさまじいものがあります。

歴代市長が作ったハコモノ3兄弟によって
(美術館、芸術劇場、ソレイユの丘)
今年1年だけで**14億4225万円の赤字が出ます**

それなのに「ハコモノ反対」で当選した吉田市長までもが、さらに新たなハコモノを作ろうとしています。あなたは、知っていましたか？

新サッカー場の総費用 **14億2600万円**
市は運営コストを**試算せず(年2500万円赤字?)**

佐原2丁目の湘南学院高校グラウンドの隣。設備は屋根付き300席のスタンド、人工芝、夜間も使える照明灯、シャワー室も完備。ぜいたくです。



すでに市は9370m²の土地を4億6253万円で購入済(昨年12月議会)。市議会で、この土地購入に**反対した議員は、フジノ1人だけでした。**

「ハコモノ」よりも、いのちを守る「福祉」に税金は使うべき！

8年前、フジノが行なった美術館建設への「反対署名」は「半年」で「7万5000筆」も集まりました。一方、地元のサッカーファンによる「サッカー場建設を望む署名」は「4年間」でわずか「8000筆」でした。この数の大きな差は「ハコモノではなく福祉を守れ」という市民のみなさまの想いの表れです。税金は市民のみなさまの血と汗の結晶です。いのちを守るためにこそ、使わなければいけません。購入済の土地は「被災者の方々の仮設住宅建設として使うべきだ」とフジノは市議会で提案しました。

横須賀市議会議員(無所属)

精神保健福祉士

日本心理学会認定心理士

「市議会の質問王」

⇒2期8年間、全ての本会議で市長へ質疑を行なったのは、全43議員中、フジノだけでした。

おれをこきつかえ！

ふじの ひで あき

藤野英明37才



今、子どもたちを守る福祉が「カット」されています

すでに市内には不入斗はまゆう公園サッカー場(観客席1000席)があります。市長は「はまゆう公園サッカー場は土なので雨天中止になり不便だ」と言うので、フジノは「今あるコートを人工芝に貼り替えれば良い。試算したか」と問いましたが、市長は「検討していません」と答弁。すでにあるサッカー場をリフォームして人工芝化すれば、十分なのに。

こんなムダづかいの影で、市は財政改革の名のもとに、「ひとり親家庭への水道基本料(月1805円)の減免」を来年3月で廃止する予定です。小中学校の不登校発生率が県内ワースト1位なのに24時間365日の生徒むけ相談電話・ヤングテレホンよこすかを廃止してしまいました。

「いのちを守る」為に、8年間全力で走り続けてきました。

議会活動報告チラシ第25号(ver2)

2011年4月11日発行

これまでの実績の一部を紹介します

- 全国の自殺者数が13年連続で3万人と減らない中、横須賀では自殺者数が減少傾向に変わりつつあります(フジノが当選する前の年が過去最悪の108人でしたが、昨年は83人に減少。これは過去9年間で最少です)
- これまで自殺未遂をした方々は体の治療が終わると放置されていたのですが、救急救命センターと市が協働して自殺未遂をした方々のその後の生活を継続して支援ははじめました(この取りくみは全国でまだ3地域でしか行われていません)
- 唯一予防することができるがん「子宮頸がん」で若い女性の死亡が増えているのに対して、早期発見の為に「検診」とそもそもウイルスへの感染を防ぐ「予防ワクチン接種」の「無料化」を実現しました
- ひとり親家庭の民間自助グループのサポートを続けてきました
- これまで父子家庭には無かった「児童扶養手当」を実現しました
- 多重債務に苦しむ方々が急増している現状に対して、弁護士による毎月2回の無料相談の場を実現しました
- 性的な多様性への理解を深める為に、性的マイノリティの大学生たちと教育委員会との懇談を実施し、ゲイの高校生を講師に教職員むけの講演会を開催しました
- 小中学校の不登校発生率が県内ワースト1位の現状を変える為に、「スクールソーシャルワーカー」を学校に配置しました
- 認知症の方々を消費者被害等から守る為、「市民後見人制度」を実現
など

さらに

これから実現させること(現在進行中です)

- 「横須賀の自殺ゼロ」を目指すと共に、自殺対策を進める全国の地方議員のリーダーとして、日本の自殺犠牲者3万人を必ず減らします
- 2000人も高齢の方々が入所待ちをしている「特別養護老人ホーム」の「待機ゼロ」を目指します
- 市内に1カ所も無い「夜間対応型」の訪問介護を誘致し、24時間切れ目のない介護を提供することで、ご家族の負担感を減らします
- 子育て、介護、こころの健康をはじめ、どんなご相談にも対応できる「24時間365日の相談電話」を実現します
- 働きたい方々の為に「保育園と学童保育の定員」を増やします
- 7人に1人のこどもが貧困世帯にある現状を教育の力で貧困の連鎖を断ち切る為に「放課後の学ぶ機会」を増やします
- ひとり親家庭(特に父子家庭)への生活支援を充実させます
- 児童虐待が県内ワースト1位の横須賀のこどもたちを守る為に「里親制度」を普及させて家庭的養護でこどもたちを支援します
- 毎年14億円も赤字を出しているハコモノ3兄弟の運営形態を全面的に見直し、廃止・民営化して赤字ゼロを目指します
- 「地域防災計画」「耐震改修化計画」を全面的に改訂します
- 震災孤児への支援をはじめ、「被災地への支援」を継続します など。

ホームページ、毎日更新中です!

1日平均1万3000アクセスのフジノのHPは、毎日更新中です。フジノの想い、お金の使いみち、スケジュール、全て公開しています。この活動が高く評価されて、第4回マニフェスト大賞(ベストHP部門)を受賞しました。

アドレスはこちら <http://www.hide-fujino.com>

あなたの意見や感想、お待ちしております

＜横須賀市議会・無所属・藤野英明事務所＞
〒238-0007 横須賀市若松町2-31 平坂第1ビル3階
電話とFAX:046(824)3162 携帯:070(5372)1881
Eメール:fujinohideaki@gmail.com ツイッター:fujinohideaki

誰でも参加できるカフェトーク、毎週オープン

すてきなカフェでお茶をしながら、あなたの想いをどんなことでも聴かせてください。そんなカフェトークを毎週1回のペースでこれまで255回開きました。申込み不要、途中の出入り自由、誰でも参加できます。市内だけでなく、市外・県外(北海道、長崎、広島、山梨、静岡、東京、千葉など)、全国から多くの方々に参加していただいています。

このカフェトークはマスコミにもたびたび取材されて、今では他のまちでも同じ名前や同じ形の集まりが開かれるようになりました。ぜひあなたも遊びにいらしてくださいね。